

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	龍谷大学附属平安高等学校
所在地	京都市下京区大宮通七条上ル御器屋町30
電話番号	075-361-4231

<p>(1)</p> <p>建学の精神</p>	<p>龍谷大学附属平安高等学校・中学校の「建学の精神」は「浄土真宗の精神」です。浄土真宗の精神とは、生きとし生けるもの全てを、迷いから悟りへと転換させたいという阿弥陀仏の誓願に他なりません。迷いとは、自己中心的な見方によって、真実を知らずに自ら苦しみを作り出しているあり方です。悟りとは自己中心性を離れ、ありのままのすがたをありのままに見ることのできる真実の安らぎのあり方です。</p> <p>阿弥陀仏の願いに照らされ、自らの自己中心性が顕わにされることにおいて、初めて自分中心の勝手な考え方にとられるのではなく、広く柔らかな考え方ができるようになるのです。本校は、阿弥陀仏の願いに生かされ、真実の道を歩まれた親鸞聖人の生き方に学び、「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育てます。このことを実現するための日常の心得として以下の3つの「大切」を掲げています。これらはみな、建学の精神あってこそその心であり、生き方です。</p> <p>○ことばを大切に 正確な言葉・やさしい言葉・ていねいな言葉 ○じかんを大切に 今という時間・青春という時間・人生という時間 ○いのちを大切に いただいているいのち・願われているいのち・支えられているいのち</p>																																										
<p>(2)</p> <p>本校の特色及び 将来展望</p>	<p>本校は、浄土真宗の精神を建学の精神とする浄土真宗本願寺派の宗門校です。「浄土真宗の精神」を学ぶ「徳育」(宗育)を教育の根幹に据え、その幹から「知育」「体育」の枝力伸び、そこに学力や体力の向上、夢の実現という考え方を基本に、仏教的なもの見方ができる人間を一人でも多く育てることに力を注いできました。本校の中高一貫教育は、国公立大学や難関私立大学を目指すためのコースですが、一方では、全国で唯一の龍谷大学附属校でもあり、高校進学時に龍谷大学連携コースを選択すれば、龍谷大学へ進める道も確保しています。</p> <p>本年度、2022(令和4)年度からは「教育基本構想2030(HEIAN VISION 2030)」を基軸とした、新しい「学びのステージ」と「教育のスタンダード」の確立を進めるべく、自ら学び考える学習活動を支える施設設備の整備及び高度情報通信ネットワーク社会にふさわしいICT環境の整備を実現してまいります。</p>																																										
<p>(3)</p> <p>・令和5年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり なし</p> <p>・前回改定</p> <p>令和元 年度</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">【1年生】</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">入学金</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">施設拡充費 (入学時)</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">授業料</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">施設拡充費等 * (経常的)</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">計 (入学時除く)</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">考査料</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">120,000</td> <td></td> <td style="text-align: center;">620,000</td> <td style="text-align: center;">240,000</td> <td style="text-align: center;">860,000</td> <td style="text-align: center;">20,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">【2年生】</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">授業料</td> <td style="text-align: center;">施設拡充費等 * (経常的)</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">620,000</td> <td style="text-align: center;">240,000</td> <td style="text-align: center;">860,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">【3年生】</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">授業料</td> <td style="text-align: center;">施設拡充費等 * (経常的)</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">620,000</td> <td style="text-align: center;">240,000</td> <td style="text-align: center;">860,000</td> <td></td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料		120,000		620,000	240,000	860,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					620,000	240,000	860,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					620,000	240,000	860,000	
【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料																																					
	120,000		620,000	240,000	860,000	20,000																																					
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			620,000	240,000	860,000																																						
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			620,000	240,000	860,000																																						
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>龍谷大学附属平安高等学校では決算及び補正予算時に長期財政計画を更新し、財務比率表により財政の健全性を検証しているが、収支状況を判断するために最も重要な指標となる「事業活動支出比率」については上昇傾向にあり、その主な要因としては、少子化の進行に伴う学校間競争が激化し、本校の生徒確保が難しくなっていることに伴う学生納付金収入の減少が主な要因である。このような状況にあって、従来の学費による財政構造では、さらに積極的な生徒募集活動にむけての教育展開や、社会環境の変化に対応することが困難なことから、確固たる財源に基づいた質の高い教育価値を創造し、選ばれる学校としての魅力づくりに取り組むために、2019年度以降の入学生から学費改定による新学費を適用している。この結果、本校の現行学費(在学期間納付額)は既に上位にあることから、今後の納付金の改定等については、他校の状況や日本経済の動向を見据え慎重に検討したい。</p>																																										
<p>(4)</p> <p>教育内容、施設整備の 改善・拡充等の状況</p>	<p>さらなる建学の精神の伝播と醸成につとめるとともに、本年度、2022(令和4)年度から「教育基本構想2030(HEIAN VISION 2030)」を基軸とし、新しい学びのステージと教育のスタンダードの確立に向けて力強い歩みを進めるべく、自ら学び考える学習活動を支える施設設備の整備及び高度情報通信ネットワーク社会にふさわしいICT環境の整備を実現してまいります。</p>																																										
<p>(5)</p> <p>令和5年度の保護者 負担軽減策及び考え方</p>	<p>従前の通り、府及び国からの「あんしん修学支援制度」と本校独自の授業料減免制度を活用しながら、経営改革を継続することで保護者の負担軽減をはかってまいります。</p>																																										
<p>(6)</p> <p>今後5年程度の保護者 負担軽減計画</p>	<p>本年度、2022(令和4)年度から「教育基本構想2030(HEIAN VISION 2030)」を基軸とし、この中長期計画を実現するために、自ら学び考える学習活動を支える施設設備の整備及び高度情報通信ネットワーク社会にふさわしいICT環境の整備を実現してまいります。</p> <p>また、引き続き経営努力をおこなうことで、保護者の負担を極力増やすことのないようにしたいと考えています。</p>																																										